

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2021-52885(P2021-52885A)

【公開日】令和3年4月8日(2021.4.8)

【年通号数】公開・登録公報2021-017

【出願番号】特願2019-176843(P2019-176843)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 0 2 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月24日(2021.5.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1ベットスイッチの操作部が所定位置まで押下されることで1ベットが可能となっており、

1ベットスイッチの操作部の最大径は25mm未満であるよう構成されており、

1ベットスイッチの操作部に対して遊技メダルを垂直に立たせた状態で遊技メダルが押し込まれても1ベットスイッチの操作部が所定位置まで押下されないよう構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上述した課題を解決するために、本発明は、

1ベットスイッチの操作部が所定位置まで押下されることで1ベットが可能となっており、

1ベットスイッチの操作部の最大径は25mm未満であるよう構成されており、

1ベットスイッチの操作部に対して遊技メダルを垂直に立たせた状態で遊技メダルが押し込まれても1ベットスイッチの操作部が所定位置まで押下されないよう構成されていることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0892

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0892】

なお、単発動画演出においても、連続動画演出においても、テロップの表示態様の違いによって表されるボーナス等の期待度は、「低」(図105(b-1), (d-1)参照)または「高」(図105(b-2), (d-2)参照)の2段階となっており、他の演

出（会話演出も含む）によって示されるボーナス等の期待度の段階数よりも少なくなっている。例えば、前述した会話演出では、ボーナス等の期待度を少なくとも4段階で表すことが可能である。しかしながら、例えば、ボーナス等に当せんしていないときは、動画演出が実行される確率を低くする一方、他の演出が実行される確率を高くし、また、ボーナス等に当せんしているときは、動画演出が実行される確率を高くする一方、他の演出が実行される確率を低くすることで、動画演出が実行されること自体が、ボーナス等の期待度が高いことを意味しているようにすれば、たとえ動画演出におけるボーナス等の期待度の段階数が少なくとも、遊技者の興趣を損なうことはない。